

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【城西中学校】

<第1学年：地域の防災における課題を考えよう>

1・2学期の総合的な学習の時間において、次のような流れで地域の防災における課題について学びを深めてきた。



- ① 防災についてのオリエンテーション
- ② 災害予想動画や啓発動画を視聴し、災害時の避難や防災について考える。
- ③ 非常用持ち出し袋に入っている防災グッズを参考にしながら、自分と家族が避難時に必要なものを具体的に考えたり、日頃の備えについて考えたりする。
- ④ マイタイムラインを作成し、災害発生時における自分と家族の具体的な行動を考え、実際に避難する手順を整理する。
- ⑤ 命のハガキプロジェクトにおいて、ハガキを作成することを通して、家族の命を守ることにについて考える。
- ⑥ 災害用伝言ダイヤルの使い方について学び、適切に情報を発信したり、受け取ったりする方法を身に付ける。
- ⑦ 防災学習の振り返り

これらの活動の中で、生徒が自分の住む地域を最も意識できたのは、マイタイムラインの作成である。生徒は自分の住む地域がどのような災害に見舞われる可能性があるかを調べ、避難場所の確認や災害レベルに応じてどう行動を取ればよいのかをマイタイムラインにまとめた。作成後の感想として、作成したマイタイムラインを基に家族と避難場所の確認や準備している防災グッズの再点検を行いたいというものがあがった。また、11月24日（日）に本校を会場に行われた「竹原町 全町一斉避難訓練」では、作成したマイタイムラインを展示し、地域の方々に見ていただく機会を得ることができた。



今年度は、8月に南海トラフ地震臨時情報が発表されたこともあり、これまで以上に防災意識が高まり、2学期始業式の日家庭での災害への備えについて尋ねると、夏休みに準備を進めたという声もあった。防災学習で学んだことを生かして、自分や家族だけでなく、地域住民の命をみんなで守っていくという気持ちを高めることができたと思われる。